

鯖江市交通ビジョン【概要版】

背景と目的

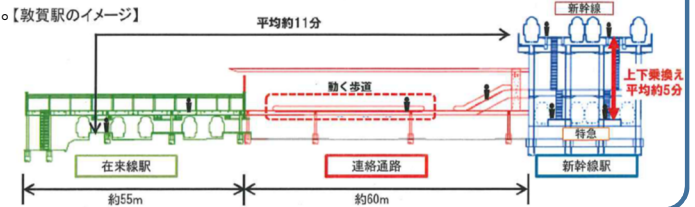
鯖江市では、令和5年春の北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、JR北陸本線、福井鉄道福武線等によって構成される幹線交通網の変化に対応するとともに、市民生活の日常の移動手段や、観光、ビジネス等で本市を訪れる人々への移動環境を整備するため、コミュニティバス「つつじバス」を含めた新たな二次交通網の構築が必要不可欠であります。

そこで、新幹線の駅のない鯖江市として、全国の主要都市との交通アクセスや、高齢化社会を見据えた、生活者の視点に立った新しい移動交通システムの構築について、さらにはJR鯖江駅や鯖江インターチェンジ、北鯖江パーキングエリアなどの交通拠点施設の在り方なども含め、様々な諸課題への取り組みや、関係機関への働きかけを行うにあたっての道しるべとする（検討すべき項目を整理する）ために「鯖江市交通ビジョン」を策定するものです。

特急存続の現状

北陸新幹線福井・敦賀開業に伴い、経営分離によって石川県境から敦賀駅の特急の役割が新幹線に移るため、特急サンダーバード、しらさぎの運行が敦賀発着となり、関西方面、中京方面との往来に敦賀駅での乗り換えが生じることになります。

鯖江市では特急の存続を強く求めています。現在敦賀駅では新幹線と特急は上下方式でまた在来線駅との移動は動く歩道を計画するなど、乗換えに対応した利便性の向上策が図られているのが現状です。【敦賀駅のイメージ】



鯖江市における対策

新幹線の駅のない鯖江市として、総合的な二次交通網の実現を見据え、取り組みが必要と考える対策を大きく3つのカテゴリーに整理し、そのカテゴリーごとに個別の対策を掲げました。

普段の交通利便性の向上対策

- ㊦ JR鯖江駅東口改札、駅東駐車場再整備の検討
- ㊦ JR北鯖江駅周辺駐車場の再整備等の検討
- ㊦ 並行在来線と福井鉄道福武線との連携による地域鉄道交通網の構築
- ㊦ 高速バスのバス本数増の検討
- ㊦ サンドーム新駅設置の検討
- ㊦ 北陸自動車道利用利便性・機能の向上
- ㊦ 北陸新幹線福井駅、南越（仮称）駅へのアクセス整備

観光対策

- ㊦ 鯖江型の観光を活かす二次交通網の構築
- ㊦ 高速・幹線交通網の変化を見据えた観光施策の展開
- ㊦ 気軽に移動できる交通環境づくり
- 【再掲】 高速バスのバス本数増の検討
- 【再掲】 北陸自動車道利用利便性・機能の向上
- 【再掲】 北陸新幹線福井駅、南越（仮称）駅へのアクセス整備

高齢者対策

- ㊦ 自家用有償旅客運送制度等の導入
- ㊦ コミュニティバスのフリー乗降制の研究
- ㊦ 地域で考えるコミュニティバス運行ルート
- ㊦ 小回りの利くコミュニティバス
- ㊦ 交通システムの進化に応じた高齢者運転支援の仕組みの研究

検討スケジュールの方針

R2年度 2020.4～2021.3	R3年度 2021.4～2022.3	R4年度 2022.4～2023.3	R5年度 2023.4～2024.3
		北陸新幹線 福井・敦賀開業 並行在来線 開業	
調査・研究・協議			実現性の判断
関係部署等との協議・検討		可能なものから随時実施	

北陸新幹線福井・敦賀開業を待たずに、あるいは開業に合わせて企画・実現可能なものについては随時提案・実施できるよう、対策事業ごとに時機を逸することなく協議・検討を進めていきます。

また、実現性自体の判断や効果の確認が必要な事業については、調査研究を進めるとともに、関係機関等との協議を実施してまいります。